

# 愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 17 年第 6 週(2 月第 2 週 2/7 ~ 2/13)

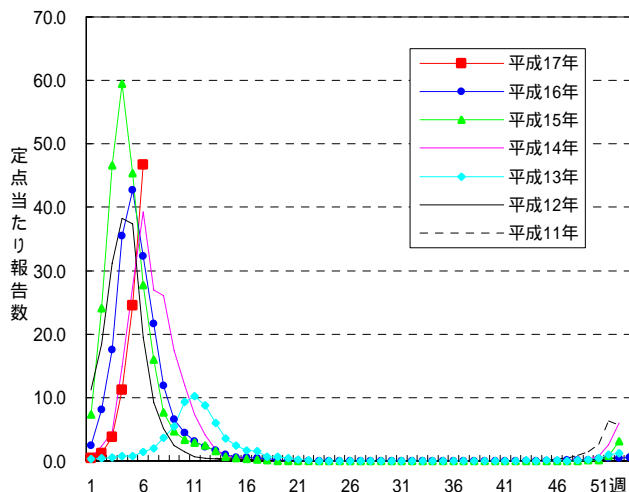
(作成) 愛知県感染症情報センター

連絡先: 052-910-5619 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

## トピックス

### インフルエンザ流行状況

### インフルエンザ



その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

### 集団かぜの患者発生状況について

【平成 17 年 2 月 17 日午後 3 時現在】

	県		名古屋市		豊橋市		岡崎市		豊田市		合計	
	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数
計(2.17現在)	2,295	1,418	1,543	963	100	65			298	168	4,236	2,614
前年同期	2,716	1,447	1,060	564	160	91			16	10	3,952	2,112

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

インフルエンザ関連情報リンク ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf\\_links.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html))

愛知県のインフルエンザの流行予測について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)

インフルエンザウイルス分離状況 ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri04\\_05.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri04_05.html))

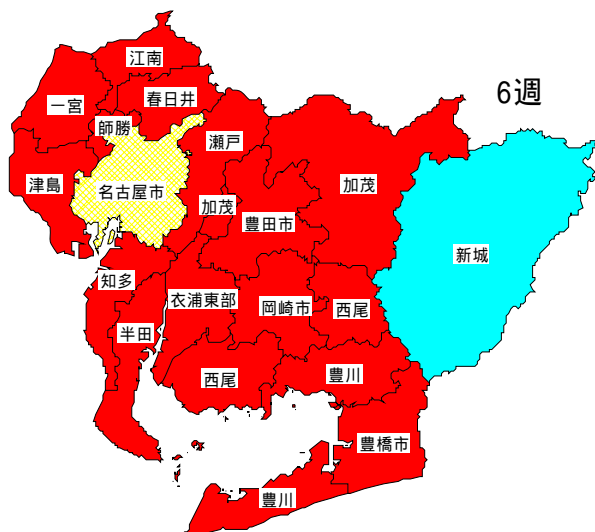
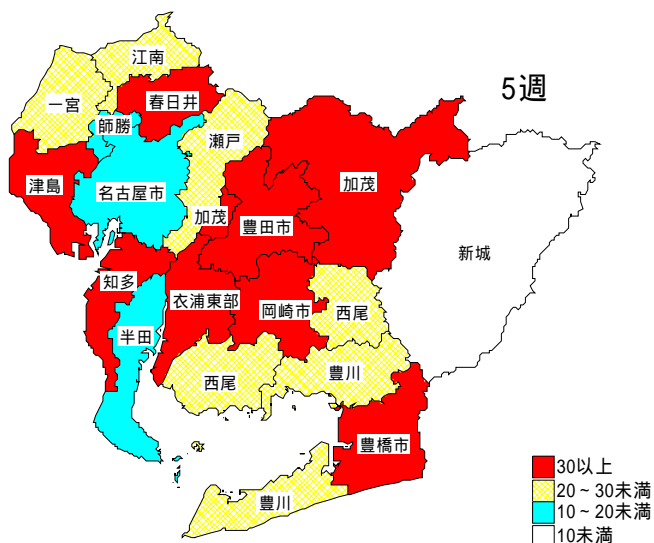
#### < インフルエンザから身を守るには >

過労を避け、十分な睡眠、栄養、保温に心がけて体調を整えましょう。

人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時には、うがい、手洗いをしましょう。

かかった時は、早めに医師の診察を受け、安静に保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐよう心がけましょう。特に、高齢者の方は、インフルエンザの症状があまりでないが、長引くと肺炎など重症になる可能性があるため、かぜの症状がでた場合、早めに医療機関を受診することが大切です。なお、医療機関を受診する際には感染させたり感染してしまうことがないように、なるべくマスクをしましょう。

# インフルエンザの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	6週	定点 当たり	5週	定点 当たり		6週	定点 当たり	5週	定点 当たり
名古屋市	1848	26.4	871	12.4	岡崎市	848	77.1	505	45.9
瀬戸	378	42.0	204	22.7	衣浦東部	1221	111.0	528	48.0
津島	387	55.3	215	30.7	西尾	271	54.2	132	26.4
師勝	147	36.8	48	12.0	豊田市	478	59.8	245	30.6
一宮	575	35.9	320	20.0	加茂	115	38.3	101	33.7
春日井	594	66.0	365	40.6	豊橋市	927	77.3	520	43.3
江南	274	45.7	145	24.2	豊川	379	42.1	207	23.0
半田	259	43.2	66	11.0	新城	39	19.5	15	7.5
知多	360	51.4	277	39.6					

○ は今週注意報が出ている保健所(市)です。  
○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるインフルエンザの流行発生注意報は保健所(市)定点当たり10人を越えた場合に、また、流行発生警報は30人を越えた場合に発生し、10人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

インフルエンザ 62 人 B 型 54 人 A 型 8 人  
(ワクチン済み 37 人 なし 19 人 未確認 6 人)  
アデノチェック陽性例 2 例あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ 21 名中 A 型 2 名 残り B 型  
アデノウイルス感染症 3 名

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌 O1 36 歳女

病原性大腸菌 O6 13 歳男

病原性大腸菌 O25 5 歳女、49 歳女

非常にインフルエンザが多く、重症例では、  
インフルエンザとマイコプラズマの重複感染例  
が 5 件ほどありました(大人も含む)。インフル  
エンザ B が優位のように見えますが、検査試薬  
の感度の問題を考えると必ずしもそうとはい  
きれない様に思います。インフルエンザ B 対  
してはタミフルの効果もまちまちで、A の優  
位な効果を実感しません。

【尾西市 城後小児科】

インフルエンザ 55 例中 5 例が A 型で、週末  
に A 型が流行してきました。

【一宮市 平谷小児科】

A 型インフルエンザ(2 歳女、5 歳男、7 歳  
男、8 歳男、11 歳男、35 歳女、33 歳女(ワクチ  
ン接種済))。

B 型が週末にピークをむかえた様です。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ B 型 42 例(ワクチン接種者 22  
例)、A 型 18 例(ワクチン接種者 8 例)

ロタ感染症、ムンプス続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

先週よりさらにインフルエンザ増加しました。

(A 型 2 名、B 型 72 名、うちワクチン接種者 47  
名。)

溶連菌感染症の流行も続いています。

アデノウイルス感染症 3 名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

40 歳男、8 歳女 マイコプラズマ肺炎

インフルエンザが増えて参りました。A 型 3  
名、A、B 両型出た方 1 名他は全て B 型です。イ  
ンフルエンザワクチン接種者も数名罹患して居  
ります。

【春日町 丹羽医院】

インフルエンザ A 型 2 名、B 型 41 名

【師勝町 田中クリニック】

インフルエンザ A 型 19 名 B 型 90 名

【七宝町 医療法人村上医院】

インフルエンザ A 型 11 名 B 型 76 名

【十四山村 医療法人すずきこどもクリニック】  
エスプラインテストで A 型 6 名、B 型 42 名でし  
た。

【一宮市 医療法人かすがい内科】

### 尾張東部地区

インフルエンザは増加しているが殆ど B  
型です。30 例中 A 型は 2 例。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週からインフルエンザ急増しました  
(診断キット陽性はほとんどが B 型ですが、  
A 型も少数みられます)。

嘔吐、下痢症状での受診も多くみられて  
います。

その他水痘、流行性耳下腺炎散発、手足  
口病が 1 例ありました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

10 歳女 B 型インフルエンザ

11 歳男 A 型インフルエンザ

70 歳男 黄色ブドウ状球菌

感染性腸炎

【豊明市 豊明団地診療所】

相変わらずインフルエンザ B 型が大変多  
いです。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ 67 例 A 型 14 例、B 型  
53 例

水痘少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週はインフルエンザ B が流行していま  
す。インフルエンザ A も 1 例ありました(5  
歳男)。

【春日井市 かちがわ北病院】

ロタ胃腸炎流行

インフルエンザ増えている(B ばかり)。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ急増しています。タミフル  
の効果が A 型では効果がよいようですが、B  
型ではよくないようです。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA、B共ふえてきました。  
感染性胃腸炎も多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
インフルエンザは全例B型でした。

【春日井市 竹内医院】  
インフルエンザA 3件、インフルエンザ  
B 7件

【半田市 医療法人林医院】  
B型インフルエンザ 10名、A型インフ  
ルエンザ 1名

【南知多町 医療法人大岩医院】  
2/10~2/13 日直、当直帯 インフルエ  
ンザ多数、全部は表に書き込めません。ほ  
とんどB型

【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

インフルエンザ患者27名のうちA型7名、  
B型20名でした。

【東海市 東海市民病院】  
感染性胃腸炎 ロタ 陽性の人多い。  
インフルエンザ感染症増加しています。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】  
インフルエンザA型男1名、女4、他はす  
べてB型です。

胃腸炎も小流行中。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

## 西三河地区

4歳男、6歳男女 イムノカードSTstrepA  
(+)

1歳女、2歳男 ラピッドテストロタノアデノ  
(ロタ+)

3歳女2名、4歳男、6歳男4名、6歳女、8  
歳男女、9歳女3名、10歳男女、11歳男2名  
エスプラインインフルエンザA/B A(+)

1歳男、2歳男、2歳女2名、3歳男、3歳女  
2名、4歳男5名、5歳男4名、5歳女3名、6  
歳男3名、6歳女、7歳男、7歳女5名、8歳男  
2名、9歳男、9歳女3名、11歳男2名、11歳  
女、13歳女、33歳女、36歳男、37歳女 エス  
プラインインフルエンザA/B B(+)

【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザA 10名

インフルエンザB 23名

【豊田市 田中小児科医院】  
インフルエンザの型別

A型 27例、B型 87例、不明 1例

【岡崎市 花田こどもクリニック】

6歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザA型 9(ワクチン接種済3)

インフルエンザB型 72(ワクチン接種済31)

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
インフルエンザ

A型 7名、B型 75名、不明 1名

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

4歳男 マイコプラズマ肺炎

インフルエンザが流行しています

【三好町 三好町民病院】

インフルエンザ A型2名、B 15名  
(ワクチン接種済9名)

水痘が増加

【西尾市 やすい小児科】

インフルエンザ急増 A29名、B56名

【西尾市 山岸クリニック】  
インフルエンザ計99名(A型16名、B型83  
名)

2月13日(日曜日)は当直当番でしたが、総  
受診者155名の大半は

インフルエンザの迅速診断と治療希望でし  
た。(当日の陽性者は65名)

迅速診断と特效薬が一般常識化して来たよ  
うです。

【岡崎市 粟屋医院】

インフルエンザA型 3名

3名ラピッドテストFULAB A(+)

インフルエンザB型 27名(家族内感染 14  
名、ワクチン接種済 5名)

25名ラピッドテストFULAB B(+)

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
A型は1例のみ 他は全てB型でした。

【岡崎市 村山医院】  
小学校低学年を主体にインフルエンザが増  
加(Bが主体)

【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザが増えてきました

【刈谷市 まついこどもクリニック】  
キャピリアFlu A(+ )2、B(+ )42  
便中ロタ(+ )3

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザA 8名、インフルエンザB  
111名

2月11日祝日が当直でしたのでインフルエ  
ンザで混雑しました。

乳幼児はロタウイルス感染症多い。

MCLS(川崎病)様 3名入院

【知立市 宮谷クリニック】

## 東三河地区

インフルエンザ流行中  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
5歳女 マイコプラズマ肺炎  
2歳女 アデノ扁桃炎  
インフルエンザA B共大流行中です。  
【豊橋市 野村小児科】  
A型8人、B型62人 70人のうちワクチン接種者は10人であった。  
【豊橋市 医療法人山本内科】  
A型3名で1名予防接種、B型26名で7名予防接種実施されていました。先週インフルエンザ予防接種を施行したB型インフルエンザ罹患者は、マイコプラズマ肺炎も併発しました。  
【豊橋市 医療法人杉浦内科】

インフルエンザA型2例、B型28例  
【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザはA型10名、B型196名の計206名で、B型主体の流行が続いています。  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】  
インフルエンザBが多い。  
川崎病2例あり。  
【豊川市 豊川市民病院】  
5歳女 1/26 FluB タミフル3日分  
2/10 FluB  
(いずれもキャピリアで確認)  
【蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院】  
インフルエンザA、Bともに増加あり。  
両者に罹患するものもあり。  
【田原市 かわせ小児科】

## 一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症 <関連リンク> 三類感染症ってなあに?  
([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui\\_1.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html))

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	瀬戸	22	女		2/4	2/8	O157 VT1(+)

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢1例 (推定感染地域:国内、推定感染経路:不明) 5週報の再掲  
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)  
オウム病1例 (推定感染経路:オウム)  
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/oumu.html>)  
ウイルス性肝炎1例(B型、推定感染経路:不明)  
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-2>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

朝夕は相変わらずの寒さですが午後の日溜りではタンポポが開きはじめ、毎晩大騒ぎしている猫が丸くなって昼寝をしていたりする昨今です。いつも貴重な情報を有難うございます。1月後半(一部2月前半)のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内: 城北病院渡辺先生からはインフルエンザBが増えてきてAも増加、ワクチン接種例も多数ありインフルエンザによる熱性痙攣例も散見され、RSウイルスによる喘息様気管支炎がまだ多いが増加傾向なく、嘔吐が主体の胃腸炎が多く、最近ロタ陽性者が多くなって来た、インフルエンザ様でインフルエンザ(-)、喉も赤くない発熱患者散見(アデノも陰性)、入院患者ではインフルエンザ、RSウイルス感染症、ロタ陰性胃腸炎等の患者で病棟の部屋やりくりが難しい、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザが多発中でA型1:B型9の割合、ロタウイルス腸炎も多くアデノウイルス咽頭炎の入院が2例、千種区今枝先生からは水痘が久しぶりに来院(2歳女兒)、感染性胃腸炎(細菌性、ウイルス性)ぼつぼつ、インフルエンザ時々(幼児から大人へ)、中京病院柴田先生からはインフルエンザが増加中(B型>A型)、労災病院山田先生からはインフルエンザが多発中でB型がA型より多く要入院例目立ち(1例はロタ腸炎+インフルエンザB+ヘルペス歯肉口内炎の合併)、胃腸炎が多くでロタ腸炎による入院目立ち、RSウイルス感染症の入院も目立つとのことのお手紙でした。
- 2) 三河地区: トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザAとBが少し出てきた、ロタウイルスも散見、胃腸炎の入院は少し減ってきた、加茂病院梶田先生からは1月後半からインフルエンザA、Bが少しずつ増えてきた、感染性胃腸炎が多く(ロタが増えた)、1月後半にはロタウイルス性腸炎の入院が目立ちマイコプラズマ肺炎もやや多い、碧南市永井先生からはインフルエンザ(殆どB)が増加しているがまだ流行というほどではない、豊橋市長屋先生からは感冒性胃腸炎、インフルエンザが目立つとのことのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2005年1月21日(80巻3号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8003/en/>

鳥インフルエンザ。ベトナム。最近の状況; 05年1月4日WHOへベトナム当局からインフルエンザA(N5H1)人感染例2例追加報告。18歳女性(1月1日入院、10日死亡)と35歳女性(1月9日入院、重症)。現在確認検査中。確定されれば04年12月中旬以降の同国の確定例は6例(死亡4)となる。

洪水と感染症。WHOの説明書(Fact sheet)と勧告; 洪水で増加する感染症の概略。

水系感染症: コレラ、A型肝炎、レプトスピラ症、腸チフスなど。重要なリスク疾患であるが洪水だけでなく、大量の難民発生(例: 80年以降の南スーダン)、飲料水の汚染(例: 93年米合衆国アイオワ、ミズーリ州)が関与。難民の離散や移動で爆発的な人から人への集団感染は比較的少ないが、安全な水供給がポイントとなる。それ以外に経皮的感染(外傷も含め)としてレプトスピラ(泥水で感染)が問題となる。蚊媒介感染症: 洪水後6~8週で集団発生。最近ではカリブ海諸国のハリケーン災害、ペルーのエルニーニョ現象による降雨などでマラリアが発生、96~98年の東欧、イタリアの大洪水では西ナイル熱が発生している。遺体からの感染: 災害現場の担当者と家族。結核、血液が感染源となるウイルス感染症、遺体の排泄物(糞便など)による感染が問題となる。他の問題として溺水、外傷(破傷風トキソイド接種は初回接種を広域に一斉に実施することは実際問題があ

るが基礎免疫終了者の追加緊急接種は重要。治療用免疫グロブリン確保をする)、低体温、停電などによる基本的な機能マヒ。飲料水の塩素消毒。小児に対する基本的な予防接種、特に麻疹、感染症発生状況把握のためのサーベイランス網の緊急的確立、蚊対策(残留性殺虫剤)とマラリア予防(アルテミシン系マラリア予防内服薬の無料配布)、教育活動、などを強調した詳細な総説。

1月14-20日届出。コレラ:ギニア、マラウイ。

**2005年1月28日(80巻4号)** <http://www.who.int/wer/2005/wer8004/en/>

鳥インフルエンザ。最近のベトナム:新規の検査確定例が2例。インフルA(H5)。北部ベトナム。46歳男性。発病05年1月1日、9日死亡。42歳男性。の弟。1月10日発病、回復中。兄の入院付き添い看護。鳥インフルの一人感染の可能性からこの2例の接触者が監視されたが現在周囲の発病者なし。さらに詳細な監視とWHO担当者との協力を継続中。兄弟が共通の感染鶏から個別に感染した可能性もあり(鶏の血液や肉を一緒に食べている)、詳細調査中。ベトナム当局は家鴨血液の汚染、鶏肉の不十分な調理に注意するよう繰返し報道(WHOは全ての鳥食品は70加熱するよう勧告)。この2例でベトナムでは04年12月中旬以降人の鳥インフル感染例は8例(死亡7)。

髄膜炎菌髄膜炎。チャド:1月6-18日、同国北部の難民キャンプで8例報告。4例培養陽性。血清型はW135。WHO、国連難民高等弁務官、国境なき医師団、国際赤十字・赤新月団が政府当局と共同で調査、治療、集団接種用多価ワクチン178,000人分を準備、緊急接種を実施中。

腸チフス。コンゴ共和国:首都キンシャサ。04年9月27日-05年1月11日、42,564例(死亡214)報告。696例が腸穿孔など重症。政府当局、国境なき医師団(ベルギー)などが安全な水供給活動などの対策を進捗、患者数は減少中。

百日咳ワクチン。WHO基本方針:本報告では(個別接種の有効性と重要性は認めるとして)地球規模における大規模な集団接種について、WHOとしての基本方針、施策方針決定の基礎的根拠がまとめられている。膨大な本文の概略は、1999年にWHOによりまとめられた百日咳ワクチン基本方針は多少の変更はあっても原則的には不変であり、世界共通の原則として、乳児期のDPT三混ワクチン初回3回接種率を90%以上に維持することが最重要課題であり、現在も百日咳発生地区では特に重要で、接種は生後6週で開始可能である。追加接種は地域、各個の実情に応じて1ないし6年後に実施。古典的な全菌体ワクチン(wP)と無菌体ワクチン(aP、本邦で接種されている改良型ワクチン)では有効性に差はなく、安全性についても殆ど差がなく優秀であるが軽度ないし中等度の副作用がwPにやや多くなっている。経済性からはwPであり、実情にあわせて選択すること。追加接種、成人の接種にはaPが望ましい。世界的疫学的流行状況は開発途上国を中心に多発(90%)、WHO推定で03年には患者数1,760万、27万9千人が死亡していて世界的な問題となっている。世界規模の監視・サーベイランスが必要で、地区別・年齢別の発生状況調査が追加接種の方針決定上重要である。臨床像と細菌学的性質:略。wP、aP各ワクチンの性質の概略としては有効性は優秀で有効率85%以上、安全性はaPでは殆ど副作用なくwPでは局所反応と発熱、不機嫌あり、共に特記すべき禁忌事項はない(HIV陽性者にも接種可能)。今後の課題として品質管理、安全性、他のワクチン接種計画との関連、他のワクチンによる干渉、日常接種現場の注意事項(温度管理など)がある。現在世界的には先進国では殆どがaP、経済性などから途上国では主としてwPが採用されている(表あり)が、WHOとしてはaPの採用を地域に合わせて今後の課題としたい。

1月21-27日届出。なし。







愛知県感染症情報

2005年第1週～第6週(平成17年1月3日～平成17年2月13日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数																										
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	98	17,126	196	1,277	9,703	1,815	146	150	634	8	4	30	3	1,144	1	151	0	0	42	0	0	
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	83	13,808	158	924	6,876	1,426	124	112	486	8	1	18	1	851	1	123	0	0	42	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	15	3,318	38	353	2,827	389	22	38	148		3	12	2	293		28						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	13	673	36	82	307	75	1	18	32			3		19		4				10		
海部津島	津島	7	7	2	2	1		806		32	638	67	3	10	20					91		6				2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			228		16	232	38			4					1		7						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		1,044	11	60	535	116	11	2	40					57	1	6						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	15	1,236	50	63	531	135	6	10	46	1	1	6		68		13						
	江南	6	6	1	2		3	534	12	79	436	69	13	1	42			1	1	84		6						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	5	402	5	20	386	131	22	12	12			1		97		1						
	知多	7	7	2	2		6	845	8	221	435	69	2	3	50					96		2						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		1,624		52	181	99	20	6	67	1				82		3						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5	2,068	2	50	451	164	9	34	48			1		64		20				1		
	西尾	5	5	1	2	1	11	479	5	41	253	79	17	4	21			1		26		14						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	4	862	1	65	1,385	153	8	4	43	5		1		74		22				13		
	加茂	3	3		1			299	6	7	158	40	4	1	6					23								
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	1	1,835	20	67	458	51	3	3	34			2		17		17				16		
	豊川	9	8	1	2	1	20	813	2	68	465	131	4	4	20	1		2		49		2						
東三河北部	新城	2	2			1		60		1	25	9	1							3								

\* 半田保健所からインフルエンザ(1～5週分)の追加報告あり。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第6週(平成17年1月3日～平成17年2月13日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	R S ウイルス感染症	インフル エンザ (高病原性鳥 を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	83	13,808	158	924	6,876	1,426	124	112	486	8	1	18	1	851	1	123	0	0	42	0	0
～6ヶ月	43	29	4	4	77	31			38	2											
～12ヶ月	17	138	13	6	428	115	7	2	283	1		1		4		1					
0歳																			2		
1歳	14	558	36	48	1,009	268	29	5	152	1	1	2		37		2			5		
2歳	8	646	21	68	698	246	22	5	11			2		80		7			6		
3歳		878	25	95	538	226	20	10	1	1		3		115		4			2		
4歳		1,215	29	160	519	237	20	17				3		178		4			4		
5歳		1,467	13	179	451	132	10	9				1	1	151		6					
6歳	1	1,654	10	124	357	77	10	21		1		2		103	1						
7歳		1,194	1	68	279	30	1	11				1		51		1					
8歳		1,009	1	53	222	18	1	9						48		1					
9歳		766	1	34	195	11		8						24		1					
5歳～9歳																			12		
10歳～14歳		1,085	1	53	493	23	2	13	1			3		47		2			3		
15歳～19歳		136		3	178	3								2		3			1		
20歳～			3	29	1,432	9	2	2		2				11							
20歳～29歳		786																			
30歳～39歳		1,200														21				1	
40歳～49歳		453														30				1	
50歳～59歳		290														13				1	
60歳～69歳		168														9				1	
70歳～																9					
70歳～79歳		85																		2	
80歳以上		51																		1	

\* 半田保健所からインフルエンザ(1～5週分)の追加報告あり。